



きゅうしょくだより

平成29年度
栄南小学校

6日(水)は“弥富の新米”を味わおう！

今年もJA あいち海部より、“**草場米**”として愛知県内で一番早く新米を出荷する弥富市鍋田地区で収穫されたばかりの「コシヒカリ」の新米をいただきました。

今年、8月10日に初出荷されました。おいしい弥富の新米を味わいましょう。



地元の農業を知ろう！

いせわんたいふう

伊勢湾台風



なべたちく

と鍋田地区

鍋田地区一帯はもともと海でした。戦後の食糧難の時に、農地にするために堤防をつくり、海水を抜き、土地を干上がらせてつくりました。しかし、とてもやせた土地で、さらに塩分がふくまれていたの
で、人々は、その塩を取り除くことからはじめなければなりません。やっと収穫できるようにな
ったころ、伊勢湾台風にあい、大きな被害をこうむりました。その後、長
い歳月と多くの人々の努力により農地はようやく復興しました。鍋田地区
では、伊勢湾台風の教訓から、台風シーズンをさけ、早い時期に収穫で
きる“**草場米**”を作るようになったそうです。



19日(火)は、海部の郷土料理“かきまし”！

郷土料理は、その土地の産物を上手に使って作られ、食べられてきた
ものです。

19日(火)の給食は、海部地区の郷土料理“かきまし”です。“かき
まし”は、混ぜごはんのことです。“かきまわし”とも呼ばれ、ごはん
と具をかき回して作ることから名付けられました。



26日(火)は、“手作りいちじくケーキ”！

愛知県は、**日本一**のいちじくの産地です。弥富市でも鎌島の辺りでたくさん栽培しています。弥富市
では、「**栞井ドーフィン**」という品種をたくさん栽培しています。

26日(火)は、給食室で作る“手作りいちじくケーキ”です。

“いちじく”について知ろう！

いちじくは、一日一個ずつ熟すから、または、果実がなってから一ヶ月で熟
すといわれるところから「一熟」と名付けられたという説があります。

いちじくは、実の中に無数の白い花を咲かせますが、外から見えず、花が咲か
ないように見えることから、漢字で「無花果」と書きます。

いちじくは、不老不死の果物といわれるほど、実も葉も薬効と栄養価が高い
果物です。

